

# 第1学年松組 国語「たのしくつかおう かんじのはなし」略案

指導者 大須賀章子

1. 日時 10月20日 2校時(9:20~10:05)
2. ねらい 漢字の成り立ちに興味を持って、読んだり書いたりすることができる。
3. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
9:20	1. 既習事項の漢字のでき方を考える。	「子」、「見」の漢字カードを準備する。	「人」「見」「男」「女」「子」も簡単な絵のようなものからできていることを紹介する	
9:25	2. 課題を確かめる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">かんじのできかたをしろう。</div> 「山」はどんな形からできた漢字かを考える。	「かんじは、はじめは、かんたんなえのようなものでした」を確認する。		
9:30	3. いろいろな漢字の成り立ちを知る。		教材文の中で説明されている「山」「水」「雨」「上」「下」について成り立ちを動画で見せていただく。	
9:45	4. 教科書 p16・p17を読む。	簡単な絵カードを準備し、教科書を読みながら、漢字の成り立ちに興味を持てるようにする。		
9:55	5. 教科書を読み、どんな漢字がどんな絵からできたのかをワークシートにまとめる。 6. 次の時間の学習を確認する。	ワークシートに書き込みながら、漢字の成り立ちに興味を持って取り組むことができたか。	漢字には意味があること、正しい使い方をしていかなければならないこと、正しい筆順で書かなければならないことを話していただく。	

